

開館35周年記念 ナンヤローーネNo.3 BY80s FOR20s 1980年代発→2020年代行き

会期 2017(平成29)年9月8日(金)から10月29日(日)まで

観覧料 一般800円(団体700円)、大学生600円(団体500円)／高校生以下無料

主催 岐阜県美術館・岐阜新聞・ぎふチャン、開館35周年記念特別展実行委員会

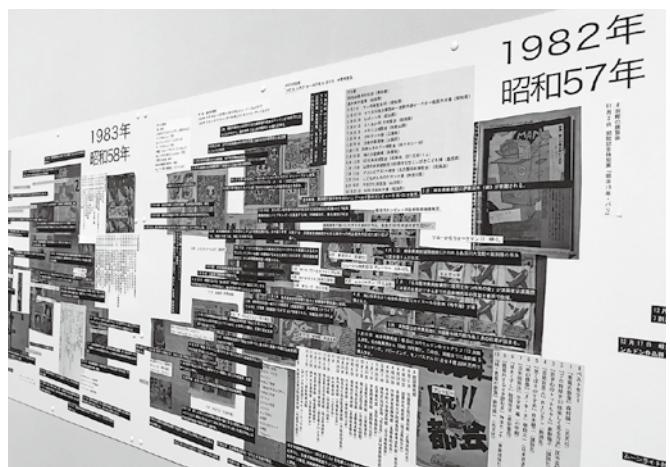
後援 NHK岐阜放送局

協賛 大和証券

協力 岐阜県社会保険協会

出品点数 150点

観覧者数 4,931人



日本各地で公立美術館が開館した1980年代、東京で始まった商業施設へのアートの進出は、流通業やマスメディアを介して流行や新しい表現様式を生み出した。イラストレーションやグラフィック等の表現媒体の出現もまた、アートの境界を押し広げていく原動力となった。ストリートから商業施設やファッション、劇場などに表現の場を展開していったアーティスト達は時代の表現者として、社会の姿や定義そのものを変えていく、その一役を担っていった。こうした80年代におけるアートの拡がり方は、新たな社会基盤が構成されていく時期と重なる。それは2020年代へ向かって、今まさに文化的基盤が変わろうとしている状況とも似通って感じられる。アートには、これから社会が求める新たな文化の姿として、地域社会と連携し多様な世界を繋げていく役割や、異なる背景をもつコミュニティへ活動の場を拓げていくことが、今後ますます求められていくだろう。

本展では、1980年代に時代を切り開いていったアーティストの一群から、既成芸術への葛藤と創出するエネルギーの源を検証し、2020年代を予見させるアートにおける「障がいとは何か」「保存と修復」「新たな読み解き」等をテーマに作品を展示した。

そして、展覧会自体をこれからのアートを考える機会とし、会場では科学者と芸術家が乗船し世界各地の海へと航海する「現代版ノアの方舟」タラ号の現在地を追跡展示したり、地球の反対側で開催されていたアルゼンチンの国際展「ビエンナーレ・スール」から刻々と送られてくる資料や映像を展示し、その様子を紹介する等、会場を貫く巨大な年表とともに会期中変化し続ける現在進行形の展示を試みた。

また、企画メッセージをウェブサイトニュースから発信し6万超のPVを記録したほか、さまざまなSNSを併用した特設サイトを開設し、展覧会という枠に縛られない企画構成とした。

開館35周年記念 ナンヤローーネNo.3 BY 80s FOR 20s 1980年代発→2020年代行き 出品リスト

No.	作家名	(生年-没年)	作品名	制作年	所蔵先
証言					
1			1980年代雑誌		個人蔵
2			1980年代レコード		個人蔵
3			証言 日比野 克彦	1982-1989	個人蔵
4			HIBINO EARTH PAPER	1989	個人蔵
5			HIBINO EARTH PAPER 2016 証言 横尾 忠則	2016	岐阜新聞社アースペーパー
6			HIBINO EARTH PAPER 2016 証言 梶本 了壱	2016	岐阜新聞社アースペーパー
7			HIBINO EARTH PAPER 2016 証言 浅葉 克己	2016	岐阜新聞社アースペーパー
8			HIBINO EARTH PAPER 2016 証言 岩井 俊二	2016	岐阜新聞社アースペーパー
9			HIBINO EARTH PAPER 2016 証言 鴻上 尚史	2016	岐阜新聞社アースペーパー
10			HIBINO EARTH PAPER 2016 証言 福田 美蘭	2016	岐阜新聞社アースペーパー
11			HIBINO EARTH PAPER 2017 証言 山川 直人	2017	岐阜新聞社アースペーパー
12			HIBINO EARTH PAPER 2017 証言 岩根 扶実	2017	岐阜新聞社アースペーパー
13			HIBINO EARTH PAPER 2017 証言 村上 隆	2017	岐阜新聞社アースペーパー
14			HIBINO EARTH PAPER 2017 証言 野田 秀樹	2017	岐阜新聞社アースペーパー
BY80s					
15	ルイーズ・ネヴェルスン	(1899-1988)	ミラー・シャドーXIV	1985	岐阜県美術館
16	岡本 太郎	(1911-1996)	『未来を拓く』マケット	1988	岐阜新聞社
17			ぎふ中部未来博博覧会会場風景	1988	岐阜新聞社
18	三尾 公三	(1924-2000)	『FOCUS』表紙	1981-	岐阜県美術館
19			海の詩(B)	1980	岐阜県美術館
20			風の音	1989	岐阜県美術館
21	小本 章	(1935-2017)	seeing 80-8	1980	岐阜県美術館
22			seeing 81-11	1981	岐阜県美術館
23			COPY LETTER '84	1984	岐阜県美術館
24	小本 章、永原 ゆり	(1935-2017)／(1957-)	HAND IN HAND 85-1	1985	岐阜県美術館
25	篠山 紀信	(1940-)	ジョン・レノン オノ・ヨーコ	1980	個人蔵
26	キース・ヘリング	(1958-1990)	1983年來日時映像	1983	ワタリウム美術館
27			「キース・ヘリング展」ポスター	1983	
28			無題(K.H.200)	1982	高知県立美術館
29	日比野 克彦	(1958-)	WEDDING CAKE	1980	個人蔵
30			WATCH	1981	個人蔵
31			YELLOW SUBMARINE	1981	個人蔵
32			BOW	1981	個人蔵
33			PRESENT BOX	1981	個人蔵
34			BOELING	1981	個人蔵
35			CROSSING	1981	個人蔵
36			SPARE	1981	個人蔵
37			GLOVE	1983	個人蔵
38			EIGHT	1981	個人蔵
39			BOWLING SHOE	1982	個人蔵
40			167 SHOES		個人蔵
41			PRESENT AIRPLANE	1982	岐阜県美術館
42			PRESENT SOCCER	1982	個人蔵
43			PRESENT SHOE	1982	個人蔵
44			PRESENT TRUCK	1982	個人蔵
45			ROBOT	1982	個人蔵
46			ONE MORE ICE	1982	個人蔵
47			TAKA TAKA BOW	1982	個人蔵
48			SOOOO YOUNG!	1982	個人蔵
49			SHINJUKU SPECIAL	1983	個人蔵
50			USED CARS	1982	個人蔵
51			ERROR	1982	個人蔵

No.	作家名	(生年-没年)	作品名	制作年	所蔵先
52	日比野 克彦	(1958-)	TYPEWRITER	1982	個人蔵
53			SOCER STADIUM	1982	個人蔵
54			STAMINA	1983	個人蔵
55			SHOE	1983	個人蔵
56			PANTS	1981	個人蔵
57			KILTING	1983	個人蔵
58			RED HIGH HEELS	1982	個人蔵
59			AIRPORT	1981	個人蔵
60			SEWING MASHINE	1983	個人蔵
61			SEWING SCHOOL	1983	個人蔵
62			SCISSORS	1983	個人蔵
63			SHOW WINDOW	1983	個人蔵
64			時代はサーカスの像にのって'84 ポスター原画		個人蔵
65			野田版 国性爺合戦 ポスター原画		個人蔵
66			DOG OF DOOR	1983	個人蔵
67			PROJECTOR	1983	個人蔵
68			RECORD PLAYER	1983	個人蔵
69			STAires	1983	個人蔵
70			ONE DAY OF HIBINO (PRINT)	1986	個人蔵
71			MAKE UP KIT	1984	個人蔵
72			UPRIGHT PIANO	1984	個人蔵
73			THREE-PIECE COSMETIC SET		個人蔵
74			ALARM CLOCK	1986	個人蔵
75			CIGARETTES	1985	個人蔵
76			Tic Tac		個人蔵
77			STEP UP WITH MONK BATH	1984	個人蔵
78			THE EVOLUTION OF THE AIRPLANE	1985	個人蔵
79			デニーズ メニュー原画		個人蔵
80			エプソン WORD BANK-L パッケージ原画	1989	個人蔵
81			噛み潰す	1991	個人蔵
82			BJ. MACKEY		個人蔵
83			作品名不詳		個人蔵
84			第3回日本グラフィック展ポスター	1982	個人蔵
85			ADV. PARCO ポスター	1984	個人蔵
86			ADV. Ginza Saison Theatre 野田版 国性爺合戦ポスター	1989	個人蔵
87			ADV. agnès b ポスター	1987	個人蔵
88			大丸福岡天神 ポスター		個人蔵
89			岐阜市制100年記念ポスター		個人蔵
90			GARO ポスター		個人蔵
91			時代はサーカスの像にのって'84ポスター	1984	個人蔵
92			YOU		個人蔵
93			コニカ ビデオテープ「H'ART GALLERY」JCM	1989-91	コニカミノルタ
94			グッズ		個人蔵
95	ジャン=ミシェル・バスキア	(1960-1988)	フーイー	1982	高知県立美術館

FOR20s

96	日比野 克彦	(1958-)	Such Such Such	2016	日比野克彦
97	大巻 伸嗣	(1971-)	ECHO-Crystallization	2005	岐阜県美術館
98	岩谷 圭介	(1986-)	Fusen Ucyu Project - BMPCC Goes to Space - 撮影 2014年北海道十勝平野上空	2014	©Fusen Ucyu Project 岩谷圭介
99			ふうせん宇宙撮影	2016	©Fusen Ucyu Project 岩谷圭介
100			ふうせん宇宙撮影 資料(機体等)		©Fusen Ucyu Project 岩谷圭介
101			タラ号 太平洋プロジェクト 2016-2018		アニアスペー

障がいとはなにか

102	造形テスト お手本6種	みずのき美術館
103	造形テスト 演習53点	みずのき美術館

No.	作家名	(生年-没年)	作品名	制作年	所蔵先
TURN					
104			TURN メッセージ		アーツカウンシル東京
105-107	日比野 克彦	(1958-)	南アメリカから届いた作品	2017	個人蔵
108-113			BIENALSUL TURN 資料	2017	個人蔵
荒川修作 養老天命反転地					
114	荒川 修作	(1936-2010)	ヘレンケラーあるいはヨゼフ・ボイスの肖像	1986	岐阜県美術館
115			《養老天命反転地 極限で似るものの家》のためのコンピューターグラフィックス	1992-94頃	岐阜県美術館
116			《養老天命反転地 オフィス》のためのドローイング	1992-94頃	岐阜県美術館
117			《養老天命反転地 オフィス》のためのドローイング	1992-94頃	岐阜県美術館
118			《養老天命反転地 不死門》のためのドローイング	1992-94頃	岐阜県美術館
119			《養老天命反転地》のためのドローイング	1992-94頃	岐阜県美術館
120			《養老天命反転地》のためのドローイング	1992-94頃	岐阜県美術館
121			《養老天命反転地》のためのドローイング	1992-94頃	岐阜県美術館
122			《養老天命反転地》のためのドローイング	1992-94頃	岐阜県美術館
123			《養老天命反転地》のためのドローイング	1992-94頃	岐阜県美術館
124			《養老天命反転地》のためのドローイング	1992-94頃	岐阜県美術館
125			《養老天命反転地》のためのドローイング	1992-94頃	岐阜県美術館
126			《養老天命反転地》のためのドローイング	1992-94頃	岐阜県美術館
127			《養老天命反転地》のためのドローイング	1992-94頃	岐阜県美術館
保存と修復					
128	熊谷 守一	(1880-1977)	蝶死	1908	岐阜県美術館
129	日比野 克彦	(1958-)	SWEATY JACKET	1982	岐阜県美術館
130-132			春日砂防ダム 壁画 映像と原画、当時の写真	1988	春日森の文化博物館
新たな読み解き					
133	オディロン・ルドン	(1840-1916)	「ギュスター・ヴ・フロベールに」 (聖アントワーヌの誘惑 第2集) 4.聖アントワーヌ:どこかに始原的な形象があるはずだ。 その身体は映像にすぎないのだ。	1889	岐阜県美術館
134	日比野 克彦	(1958-)	ケイショウ→エイゾウ ルドンW.S.後 みずのきアトリエ滞在でのドローイング	2016	個人蔵
135-140				2016	個人蔵
新たなる地平線へ					
141-150	日比野 克彦	(1958-)	ギルフ・ケビール	1999	個人蔵
					
					
					

ディアスボラ・ナウ！～故郷(ワタン)をめぐる現代美術

会期 2017(平成29)年11月10日(金)から2018(平成30)年1月8日(月・祝)まで

観覧料 一般900円(団体800円)、大学生700円(団体600円)／高校生以下無料

主催 岐阜県美術館

後援 朝日新聞社、岐阜新聞・ぎふチャン、NHK岐阜放送局、岐阜県教育委員会

助成 公益信託タカシマヤ文化基金、公益財団法人朝日新聞文化財団

協力 中東現代文学研究会、科学研究費補助金基盤研究(B)「現代中東の『ワタン(祖国)』の心性をめぐる表象文化の発展的研究」

グリーンリメイク株式会社、東建テクロード株式会社、ラ・タイヤーズイメージン

出品点数 39点

観覧者数 3,375人



ムニール・ファトゥミ



ラリッサ・サンスール



アクラム・アル=ハラビ



ランダ・マッダ



ミルナ・バーミア



キュンチョメ

「ディアスボラ」という言葉は、かつて種など「まき散らされたもの」を意味していたが、第二次大戦後、ユダヤ人の「民族離散」の歴史を表現するようになった。現代に目を移せば、中東情勢は泥沼化し、世界各地で天災がおきている。紛争や災害によって避難民は、故郷を追われ、離散し、それぞれの地に移り住みながらも、かの地への帰属意識を持ち続けている。ディアスボラの問題は、国家の枠組みを超えて、故郷(ワタン)を問い合わせることへつながる。グローバル化するアート環境で、アーティストは最先端の創作技術を獲得し世界へと発信することで、自ら置かれた立場を現代世界に表明する。本展は、戦中「命のビザ」の発行に尽力した杉原千畝の出身

県で現代を問い合わせた試みであった。

出品作家のうち、ゴラン高原(シリヤ)出身のア克拉ム・アル=ハラビとパレスチナ出身のミルナ・バーミアを作品設営のため招聘し、日本人作家ユニットのキュンチョメを加え、パレスチナ研究家の岡真理、シリヤ研究家の岡崎弘樹による充実したシンポジウムを行うことができた。また会期中、地中海東岸のレバント地域に伝わる民族舞踊ダブケのワークショップとパフォーマンスを行い、離散しながらも共有する故郷の芸術を体験した。会期中「海を渡った故郷の味」をテーマに特別メニューを提供した。

ディアスボラ・ナウ！～故郷(ワタン)をめぐる現代美術 出品リスト

No.	作家名	(生年-没年)	出身	作品名	制作年	材質	形状、点数	寸法(cm)、(上映時間)
1	ムニール・ファトゥミ	(1970-)	タンジエ (モロッコ人)	風はどこから吹いてくる？	2009 (2017年新規制作)	タイヤ、服、床材、映像	可変、(13分17秒)	
2				失われた春	2011	箒、旗	可変	
3				アーケオロジー	2016	箒、黒い旗、骨の複製	可変	
4	ラリッサ・サンスール	(1973-)	東エルサレム (パレスチナ人)	スペース・エクソダス	2009	映像	(5分24秒)	
5				パレスチノウト	2009	硬質塩化ビニル樹脂	25点	各29.0×25.0×17.0
6				未来では、彼らは最高級磁器で食事していたことになる	2016	映像		(28分37秒)
7				欠乏の考古学	2016	ブロンズ、鉄		20.0×10.0×10.0
8				歴史修正主義の皿	2015	磁器	20点	各直径26.0
9	アクラム・アル=ハラビ	(1981-)	ゴラン高原マジャル・シャムス(シリア人)	チーク	2006	映像		(1分33秒)
10				子どものアゴ	2011(2017年再制作)	インクジェット印刷	額装	42.0×42.0
11				母の髪	2013(2017年再制作)	インクジェット印刷	額装	42.0×42.0
12				私には夢がある	2013(2017年再制作)	インクジェット印刷	額装	42.0×42.0
13				焼け跡	2013(2017年再制作)	インクジェット印刷	額装	42.0×42.0
14				子どものまゆ毛	2013(2017年再制作)	インクジェット印刷	額装	42.0×42.0
15				パンと血	2013(2017年再制作)	インクジェット印刷	額装	42.0×42.0
16				舞台	2013(2017年再制作)	インクジェット印刷	額装	42.0×42.0
17				私は生きていたいAkrab Massacre	2013(2017年再制作)	インクジェット印刷	額装	42.0×42.0
18				のどの奥からの叫び	2013(2017年再制作)	インクジェット印刷	額装	42.0×42.0
19				ラジオ局	2013(2017年再制作)	インクジェット印刷	額装	42.0×42.0
20	ランダ・マッダ	(1983-)	ゴラン高原マジャル・シャムス(シリア人)	ライト・ホライズン	2012	映像		(7分22秒)
21				家	2016	ブロンズ		40.0×11.0×8.5
22				馬の背	2016	ブロンズ		19.0×13.0×14.0
23				アンクレット	2016	ブロンズ		19.0×13.0×22.0
24				サティスファクション	2016	ブロンズ		60.0×17.0×11.0
25				眠気	2016	ブロンズ		36.0×17.0×17.0
26				無題(1)	2016	テラコッタ	額装	29.0×19.0 (額:53.0×43.0)
27				無題(2)	2016	テラコッタ	額装	29.0×19.0 (額:53.0×43.0)
28				無題(3)	2016	テラコッタ	額装	29.0×19.0 (額:53.0×43.0)
29				無題(4)	2016	テラコッタ	額装	29.0×19.0 (額:53.0×43.0)
30				無題(5)	2016	テラコッタ	額装	29.0×19.0 (額:53.0×43.0)
31				無題(6)	2016	テラコッタ	額装	29.0×19.0 (額:53.0×43.0)
32				無題(7)	2016	テラコッタ	額装	29.0×19.0 (額:53.0×43.0)
33				イン・ビュー	2017	映像		(7分7秒)
34	ミルナ・バーミア	(1983-)	東エルサレム (パレスチナ人)	中断された伝記	2014	写真、手紙、映像	可変、(10分40秒)	
35				どの旗も風になびかない	2015	ミクスト・メディア	可変	
36				チュートリアル： どのように消えて、イメージとなるか	2015	映像(動画共有サービス)		(5分16秒)
37	キュンチョメ	ナブチ (1984-) ホンマエリ (1987-)	水戸 横浜	ウソをつくった話	2015	映像		(23分48秒)
38				ここで作る新しい顔	2016	映像インсталレーション	可変	
39				星達は夜明けを目指す	2016	映像		(1分47秒)